



RESOLUTION No. 25) LABOUR BROKERS/EMPLOYMENT AGENCIES IN THE PUBLIC SECTOR

第25号決議) 公共部門における労働仲介業者・雇用代理業者

第29回国際公務労連 (PSI) 世界大会
2012年11月27日－30日、南アフリカ・ダーバン

以下に留意する。:

- a) 世界中の公共部門において、労働仲介業者の利用が増大している。そうした業者は力のある多国籍企業として台頭し、国境を越えて業務を展開している。
- b) 労働仲介業者は、公共部門の民営化と外部委託を通じて、機会の推進と搾取を行う役割を増大している。
- c) 労働仲介業者は搾取的な短期契約を巧みに利用して、フルタイム雇用で得られる手当を労働者に与えないようにしている。
- d) 労働仲介業者による反組合的な偏見と、弱い立場に置かれた労働者の間で分裂と疎外を進める風潮。
- e) 多くの国では、労働仲介業者の規制がなく、労働仲介契約で定められた腐敗した慣行を悪用した機会が存在する。
- f) 臨時労働者を組合に勧誘することについて、比較的小さいが重要な教訓が得られた。
- g) 公共部門労働者が労働仲介業者の役割と利用に立ち向かい、質の高い公共サービスに基づく代替案を主張するために、公共部門組合向けのガイドラインを策定することが重要である。

したがって世界大会は以下を決議する。:

1. 加盟組合が提出した研究と証拠を通じて、労働仲介業者が公共部門でどの程度活発であるかを直ちに示すこと。
2. 多国籍労働仲介業者の所有パターンを確認し、企業の慣行と政策、および労働者の生活水準に与える影響について情報を集めること。
3. 労働仲介業者の搾取的慣行を暴き、公共部門からの一掃に向けて取り組むために、QPSキャンペーンの補完となる国際キャンペーンを始めること。これには、ILOに対する追加的な証拠の提出も含まれる。
4. 労働仲介業界の誇大広告に効果的に対抗するキャンペーン資料を作成し、現代版奴隷制としての真の性格を暴くこと。
5. 他の部門の組合および、共感的な社会運動組織と協力し、労働仲介業者が雇用する労働者が組合の保護を受け、正規雇用を確立するための戦略が策定されるようにする。
6. あらゆる形態の民営化も阻止するために、使用者と政府を関与させること。また、全欠員の補充、地域社会のニーズを満たすための公共業務の拡大など、ディーセントワークと正規雇用の確保に向けて労働仲介業者の一層を図ること。

行動プログラムおよび規約を含む大会決議 [Congress resolutions](#) を参照のこと